

2 気付きから支援へ



園での生活で

- ・子ども自ら取り組めるような言葉がけをして、自信を持たせるようにしましょう。
- ・どんなに小さな事でも成功させる場面をつくり、よいところを認め、ほめましょう。
- ・子どもと一緒に遊ぶ中で、子どもの特性を正しく理解し、その子なりに取り組んでいることを認めてあげましょう。
- ・指示は「短く」「一つずつ順を追って」「具体的に」するなど配慮をし、見通しが持てるようにしましょう。

環境の工夫

- ・落ち着いて生活できるように、室内の配置などを工夫し、気が散りそうな物は視野に入らないようにしましょう。
- ・一人でくつろげる場や遊び、時間もできるだけつくりましょう。
- ・活動する時は、活動や所持品などの絵カードをつくり、活動のイメージが持てるよう工夫しましょう。

まわりの子どもに対して

- ・友達のよさを認め合う集団づくりを心掛けましょう。
- ・教員や保育士が関わり方の手本を示し、子ども同士がお互いに温かく受け止めあえるようにしましょう。

保護者と共に

- ・幼稚園や保育所での様子、家庭での小さな変容も具体的に伝え合い、喜びを共有できるようにしましょう。
- ・保護者の悩みに寄り添うことが、子どもの安定につながります。「保護者と一緒に」考える姿勢を大切にしましょう。

3 家庭と園で手を取りあって

家庭 気付きから相談へ

《我が子を愛おしむ子育てを》

《親は……》

- ・ほめて育てる
- ・笑顔でふれあう
- ・早起きなどの生活習慣を身に付けさせる
- ・できることは見守る
- ・物事のルールをしっかり教える
- ・成功体験を多くつませる
- ・がまんする力を身に付けさせる
- ・園を信頼する
- ・早目に先生に相談する
- ・先生に情報提供する

相談の場の活用

- 乳幼児健康診査
- 園での健康診断
- 就学時健康診断
- 小学校の体験入学
- 保健・福祉機関の相談



幼稚園・保育所 保護者の気付きから支援へ

《保護者に温かなエールを》

《園では……》

- ・楽しく過ごす工夫をする
- ・認めて育てる
- ・言葉は具体的にかける
- ・目で見てわかるような支援をする
- ・その子の特性を理解し把握する

《教師間で……》

- ・先生同士で協力し合う

《保護者と……》

- ・大変さを理解し共に考える
- ・保護者と協力する
- ・将来の見通しを示す
- ・保護者と相談の上で関係機関を紹介する

- 園内体制の整備
- 園内委員会の設置
- コーディネーターの指名
- 実態把握